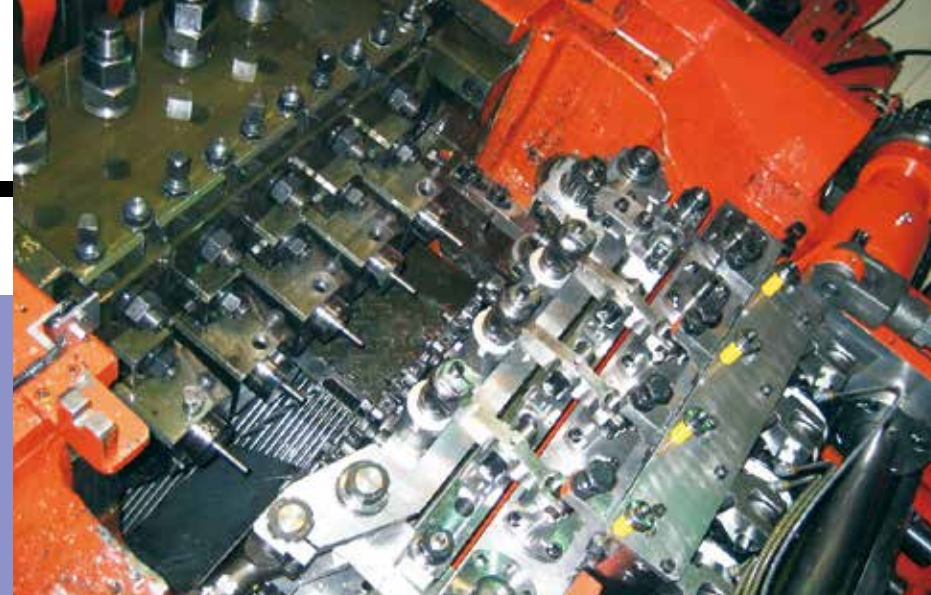


オーアイテック 株式会社

自動車金属部品を得意とする
ボルト・ナット製造の冷間圧造メーカー

導入した冷間圧造機（パーツフォーマー）



実際に作られている部品



本社工場の外観

事業
内容車のボルトやナット製造で
幅広い支持

「オーアイテック」は自動車向けに100種類以上のボルトやナットなどを手がけている。平成19年5月に大阪府岸和田市で産声を上げ、同年12月に同泉佐野市に本社を移し、「開発力」、「革新力」、「統合力」を3本の柱に日々研鑽（けんさん）している。品質の高さから顧客に高く支持され、二色の浜（大阪府貝塚市）、市場西（泉佐野市）に別工場を構えるなど順調に事業を拡大している。シートベルト、エアバッグ、エンジンなど自動車の安全に重要な役割を担う機能部品が80%を占める。岡井康治社長は「商社経由で国産自動車メーカーに多数部品を供給しており、一部輸出取引もある」とし、常に顧客のニーズに応えるべく、柔軟な量産体制を整備している。

本社工場では圧造機械（フォーマー）が16台並び、二次加工の工程を担う二色の浜工場は、NC（数値制御）旋盤などの加工設備が充実している。さらに市場西工場では梱包前に全数検査を実施するなど、自社製品の品質を厳しく管理している。3本の柱のもと顧客の多様なニーズに対応した事業を積極化している。

補助
事業最新の冷間圧造機を導入し
新規および既存製品の増産

ボルトやナットを製造できる最新の冷間圧造機を1台導入し、新規受注に十分対応できる増産体制を整備する。さらに、新規で引き合いのあった製品の開発および量産にも役立てる。現在、取引先の自動車部品メーカーや商社などから部品注文が殺到している。現在の設備では余力がなく、取引先の要望に十分対応できていない現状だ。とはいえ、設備の導入には、装置やオペレーターなどのコストがかかり、今後の受注動向や景況を考えると簡単にはいかない。

そこで今回のものづくり補助事業で機械を導入できれば、そのリスクが軽減し、工場全体の生産性の向上にも役立つと判断した。1台で多品種を製造している現状に比べて、機械の台数が増えれば、より多くの製品が短時間に生産できる。加えて、金型の段取り換えも減らせることで、機械の停止回数がより少なくなる。段取り換えをする社員を別の仕事に振り向けば省人化が図れ、原価の軽減も大いに期待できそうだ。

具体的
成果設備導入で顧客の注文に
対応できる体制が整う

1ヵ月最大150万個の部品を製造する冷間圧造機を平成26年に9月に導入した結果、工場内の機械設備の拡充が図れた。導入した機械は幅広い材料の外径と、多種多様な形状の製造に対応した。「導入した機械は今後、工場内の主力機になる」と岡井社長は、機械の活躍に期待を寄せる。機械を増設できたことで、金型の段取り換え回数が減り、機械の停止回数が少なくなった。また交換の回数が減ることで、機械1台あたりの人件費が従来より抑えられた。さらに金型を交換した後に欠陥品が発生する割合も必然的に下がり、製造コストの軽減にもつながった。

これにより以前から生産を依頼されていた自動車用部品の受注が可能になった。具体的には自動車のドアの締めり金具（ドアラッチ）に使われるピンやボルトの2種類と、ドアラッチ以外で使われるボルトの1種類で、ドアラッチの部品は新規の受注だった。冷間圧造機の導入により、ボルトやナットを生産できる量が増え、取引先への営業活動に積極的に取り組んだ。その結果、導入から1年半で新規の取引先が3社増え、年間売り上げも大幅に増加し、大きな成果を上げた。

今後の
戦略新工場を建設して
3工場集約で高効率化へ

エンジンやシートベルト、エアバッグ、ミラーなどさまざまな自動車用部品を手がけてきたが、意外にも、これまでドアラッチ部品の実績はなかった。補助事業による冷間圧造機導入で取引先と実績ができれば「各社からドアラッチ部品の受注が増えるだろう」と岡井社長は予想する。さらに今後は電気自動車が伸びるとみており「車の急速充電器の差し込み口の部品も手がけていきたい」と意気込む。

それ以外にも自動車や家電その他の分野の新しい製品を年間10—20種類増やし、さらには今まで手薄だった産業機械や農機具、家電分野の仕事も増やすことも検討している。その実現のために設備の導入を随時進めているが、設置スペース不足が懸念されているため、「近年中に新工場建設を計画している」と岡井社長は目を輝かせる。実現すれば、現在の3工場を1ヵ所に集約できるため、各工場への材料や加工品の輸送がなくなり、品質面や納期面でより高度な顧客ニーズに対応できる。製造するすべての部品で、圧造から二次加工、出荷までを一貫生産できる体制を整える。

オーアイテック 株式会社

代表取締役 岡井 康治

〒598-0034 大阪府泉佐野市長滝581-1

TEL. 072-479-6777

FAX. 072-466-2700

資本金／98,000千円

従業員／45名

「革新力」、「開発力」、「統合力」で
顧客の多様なニーズに応えます

代表取締役 岡井 康治

「革新力」、「開発力」、「統合力」を強みに自動車向けのボルトやナットの製造を中心に手がけ、多分野のお取引先様から信頼をいただいています。今後も確かな品質精度と技術開発、柔軟な量産対応能力でお客様の要求にお応えします。



取材を終えて

強い信念で事業拡大へ

岡井社長は「商社経由で国産自動車メーカーに多数部品を供給しており、一部輸出取引もある」と胸を張る。会社設立からわずか9年でここまで成長できたのも「難しい製品を作って社会に貢献したい」という岡井社長の強い信念があったからではないかと思う。新工場が完成すれば、品質・納期・コストの各面で大きな強みになる。これからも強い信念を忘れず、事業に取り組んでほしい。

<http://www.oitech.co.jp/>